

○あなたの外出状況についてお伺い致します○

質問18 外出の頻度はどれぐらいですか？

- ほとんど毎日 週2～3回 週1回 月2回 月1回  
ほとんど外出しない

質問19 主な外出方法はなんですか？（複数回答可）

- 徒歩（車いすを含む） 自家用車を運転する  
家族などが運転する自家用車へ乗る  
バスを利用する 電車を利用する 地下鉄を利用する タクシーを利用する  
リフトタクシーを利用する  
その他の外出方法（ ）

質問20 外出をするとき、誰かと一緒に外出することが多いですか？

- ひとりで外出する 家族と外出する 友人と外出する  
施設職員（介助者ではない人）と外出する 介助者と外出する  
その他（ ）

質問21 主な外出先はどこですか？（複数回答可）

- 病院 勤務先 学校 授産所 作業所 デイケア  
デパート・ショッピングセンター コンビニ 趣味の集まり  
美術館・博物館・映画館 障害者の集まり  
その他の場所（ ）

質問22 現在の外出の頻度は障害を受傷（発症）以前と比べて変わりましたか？

- 増加した 減少した 変わらない（減少していない）

質問23 道に迷うことはありますか？

- 良く迷う たまに迷う あまり迷わない  
まったく迷わない → 質問26へ

質問24 障害を受傷（発症）以前と比べて道に迷いやすくなりましたか？

- 迷いやすくなった 変わらない わからない  
その他（ ）

質問25 迷ったことのある場所はどこですか？

- 自宅の近所 街の中心街 地下街 駅の構内 閑静な住宅街  
バスの停留所付近 商店街 デパートなどビルの中 病院の中  
その他（ ）

## ○移動を支援する公的なプロジェクトについてお聞きします○

国土交通省は（高次脳機能障害者を含む）誰もが移動等に関する情報を入手することを可能にする自律移動支援プロジェクトを推進しています。（詳細は資料2をご覧ください。裏表の両面の資料です。）。

質問26 自律移動支援プロジェクトをご存知ですか？

はい いいえ→質問29へ

質問27 自律移動支援プロジェクトを何で知りましたか？

新聞・雑誌など テレビ ホームページ ポスター  
知人・友人からの紹介 その他（ ）

質問28 自律移動支援プロジェクトに参加したことはありますか？（実証実験など）

はい（場所： ） いいえ

質問29 自律移動支援プロジェクトの利用は高次脳機能障害者にとって有効だと思いますか  
※ご存知ない場合でも資料2をご覧ください。お答えください。

はい いいえ どちらともいえない

質問30 その他、携帯電話に関して困った点、ご要望などがありましたらご記入ください

質問31 その他、外出に関して困った点がありましたらご記入ください

## ご協力、ありがとうございました

※アンケート結果の送付をご希望の方のみ、下記にお名前とご住所ご記入下さい。

ご住所 〒 \_\_\_\_\_

お名前 \_\_\_\_\_

## 資料1 高次脳機能障害の種類

東京都福祉保健局医療政策部医療政策課発行のパンフレット「高次脳機能障害の理解のために」から一部引用

# 高次脳機能障害にみられる特徴的な症状の分類

## 1 失語症 —コミュニケーションの困難

話す、聞く、読む、書くなどの障害です。他の人に意志を伝えたり、他の人が伝えてきたことを理解したりすることが難しくなります。

## 2 注意障害 —注意力・集中力の低下

一つのことだけに注意を集中したり、多数の中から注意して必要なことを選んだりすることなどが難しくなります。気が散り、疲れやすいため、数分しか課題が行えないこともあります。

## 3 記憶障害(健忘症候群) —記憶と学習の困難

比較的古い記憶は保たれているのに、新しいことを覚えるのが難しくなります。約束したことを忘れたり、日時を間違えたり、場所が分からなくなり目的地へ着くことができずに迷子になることがあります。日々の暮らしで、覚えておくべきことを忘れてしまうので、生活するのが難しくなります。また、勉強や仕事の上では新しいことを学び、覚えていくことが必要ですが、このようなことも難しくなります。

## 4 行動と感情の障害

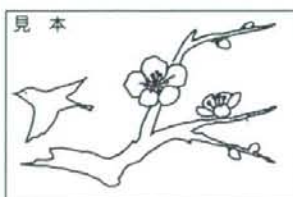
ちょっとした困難でも著しい不安を示したり、逆に興奮して衝動的になったり、一種のパニックのような状態に陥ってしまうことがあります。反対に、自発性が低下して自分からは動こうとしない状態を示すこともあります。これらの状態が混在していることがあり、状況によっては反対の行動を起こすこともあります。

また、様々な出来事に対処できなくなった場合、感情的になり、攻撃的な態度を示す場合があります。記憶力、空間の認識力などが低下した場合は、つじつまを合わせるように話を作るなどの言動も見られます。

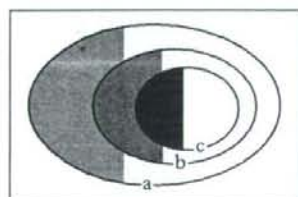
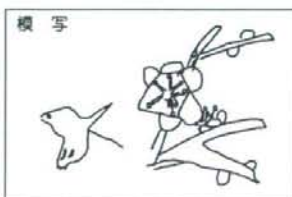
さらに、障害を受け止めきれないで、抑うつ的になり、引きこもってしまうこともあります。

## 5 半側空間無視

自分が意識して見ている空間の片側(多くの方は左側)を見落とす障害です。したがって、見ている領域が移れば、見落とす範囲も変わっていきます。今まで見ていた領域の中にある部分を見ようとすると、その部分の半側をもまた見落とします。(図1及び図2)。具体的には、左半側無視では、食事の際に左側の食べ物を食べ残す、ドアを通ろうとして左側にぶつかる、車いすや歩いて廊下を移動していきだんだん右側に寄っていくなどの状態が見られます。



(図1: 左半側無視のある人の図の模写)



(図2: 左半側無視のある人の見え方)

## 6 遂行機能障害(前頭葉障害)

生活する上で必要な情報を整理し、計画し、処理していく一連の作業(目標を決める→計画する→手順を考える→実施する→結果を確認する)が難しくなります。その結果、生活上起こる様々な問題を解決していくのが困難になります。この際、動作を始めるのが難しかったり、中断するのが難しくなることがあります。

## 7 失行症(動作と行為の障害)

手足は動かすことはできるのに、意図した動作や指示された動作を行うことができないという症状です。具体的には、歯を磨こうとして、歯ブラシをどう扱ったらよいか分からず、歯磨きのチューブを口に持っていき、食事のときにスプーンやフォークをどう扱って食べたらよいか分からないなどの状態です。軽い人は、単に動作が拙劣であったりします。

## 8 半側身体失認(身体の認識の障害)

自分自身の身体像(イメージ)をゆがんだり、身体の一部を自分のものでないように思っていたり、麻痺があるのを認めないなどの症状があります。麻痺側がないように振る舞ったり、麻痺が軽いのに使わないなどの状態も見られます。

## 9 地誌的障害(場所の認識の障害)

地理や場所についての障害です。よく知っている場所で道が分からなくなって迷ったり、自宅の見取図や、近所の地図が書けないなどの状態が見られます。

## 10 失認症

視覚についての認知障害では、目は見えているのに、色、物の形、物の用途や名称が分からない、絵を見て全体のまとまりが分からない、よく知っている人の顔を見てだれなのか分からないという症状があります。この場合、手で触れてみたり、音を聞くなどすれば分かります。また、聴覚や触覚についても同じような症状が見られることがあります。

なお、これらの症状は、慣れた環境や作業においては軽減し、疲労してくると増大するなど、時間や状況により著しく変化します。置かれている環境を考え合わせながら、症状をとらえることが必要です。

これまで述べてきた様々な症状は重複していることが多く、症状の重なり方によって障害のある人の状態は一人ひとり異なっています。

また、本人も自分の障害を十分に認識できていないことがあるのがこの障害の特徴であり、この点にも理解が必要です。

## 【資料2】自律移動支援プロジェクト

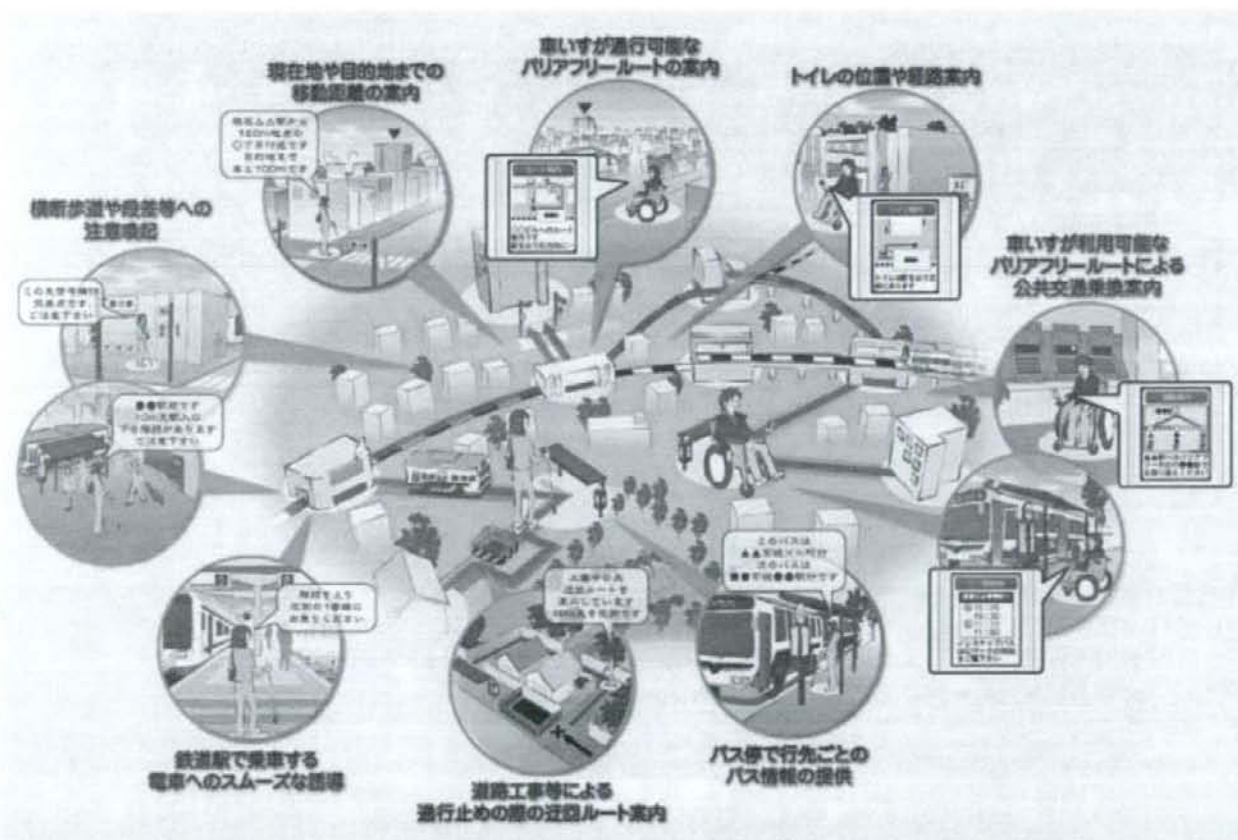
### ○プロジェクトの目的

すべての人が持てる力を発揮し、支え合って構築する「ユニバーサル社会」の実現に向けた取り組みの一環として、社会参画や就労などにあたって必要となる「移動経路」、「交通手段」、「目的地」などの情報について、「いつでも、どこでも、だれでも」がアクセスできる環境をつくる。

### ○プロジェクトの概要

- (1) 出発地から目的地までの移動手段、移動経路に関する事前情報
- (2) 移動途中の緊急時の支援情報
- (3) 目的地周辺の標識、案内情報
- (4) 目的地の施設・空間内の情報
- (5) 一連の自律的移動を支援する地域支援システムに関する情報

これらの情報を携帯電話、インターネット、地図、カーナビゲーション、「道の駅」・鉄道駅、空港・港湾ターミナルなどの情報ターミナルなどの道具も活用し、利用者に適した形で情報提供・情報交換できるシステムです。



○全国各地の取り組み

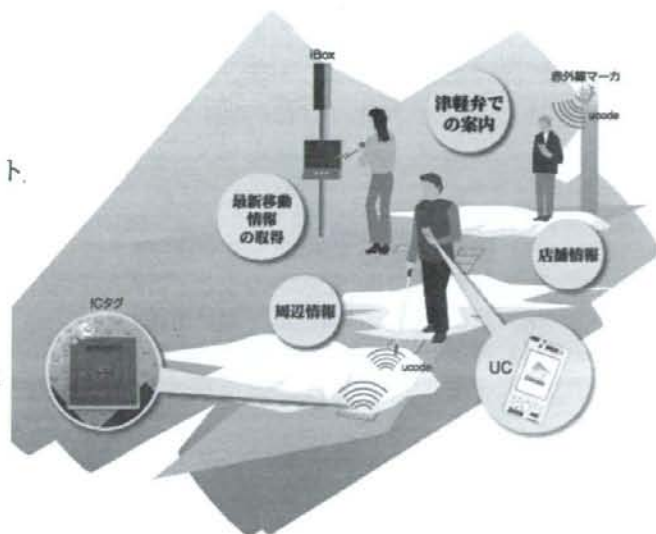
- 青森県「ゆきナビあおもりプロジェクト」
- 東京都「東京ユビキタス計画」
- 静岡市「静岡おもいやりナビ実証実験」
- 奈良県「奈良自律移動支援プロジェクト」
- 堺市「堺市自律移動支援プロジェクト」
- 和歌山県「世界遺産熊野古道ナビ・プロジェクト」
- 神戸市「自律移動支援プロジェクト神戸」
- 熊本県「安心移動ナビ・プロジェクト」

○想定されている利用対象者：

視覚障害者、聴覚障害者、もうろう、  
車いすユーザ、高齢者、外国人観光客、その他

○実施計画：

研究段階を経て実施の段階へ  
一部は 平成 19 年～  
障害者対応は 平成 22 年～ の予定



ゆきナビあおもりプロジェクトの実験イメージ



携帯情報端末の画面の紹介（車いす使用者を対象にした静岡市のプロジェクトの例）

【参考・引用 HP 等】

- 自律移動支援プロジェクト <http://www.jiritsu-project.jp/>
- 静岡市自律移動支援プロジェクト <http://www.city.shizuoka.jp/deps/kotu/jiritsutop.htm>
- ゆきナビあおもりプロジェクト <http://www.pref.aomori.lg.jp/ubi/>